

オスプレイ 緊急着陸

昨年から続く緊急着陸

2月23日横田基地所属のオスプレイ CV-22B 12-0064 が岩手県いわて花巻空港に緊急着陸しました。

同機は午前9時10分 横田基地を離陸し、北の方へ向かっていました。



横田基地を離陸する同機
2月19日撮影

【北関東防衛局からの情報提供内容】

- 1 発生日時 : 令和8年2月23日 (月) 午後1時17分頃
- 2 発生場所 : いわて花巻空港
- 3 部隊等 : 米空軍
- 4 装備品等 : CV-22オスプレイ×1機
- 5 事案概要 : 上記日時場所において、横田から飛来した米空軍所属のCV-22オスプレイが、飛行中に警告灯が点灯したため予防着陸したもの
- 6 部外への被害、影響等 : 民航機への影響なし
- 7 事案に対する防衛省の措置 : 東北防衛局職員を現地へ派遣

横田基地所属のオスプレイ CV-22B 12-0066 は昨年7月18日秋田県大館能代空港に緊急着陸、7月24日に岩手県いわて花巻空港に緊急着陸し、7月25日午後7時18分、横田基地に帰ってきました。その後、米軍から緊急着陸の詳しい説明もないまま、同機は飛行を開始し、8月は沖縄県嘉手納基地や青森県三沢基地へ出かけ、横田基地周辺を飛び回っていました。さらに10月2日 午後0時8分頃同機は航空自衛隊浜松基地に緊急着陸しています。

オスプレイ事故巡り米軍が包括評価 米軍「リスク増え続ける」

米軍は昨年末、垂直離着陸機V22オスプレイの相次ぐ重大事故に関する「包括的レビュー」を公表し、リスク軽減の取り組みに時間がかかることなどに強い危機感を示し、再び重大事故が起こる「リスクが増え続けている」との所見を示しました ※詳細は裏面参照

